

タチアザミ

Cirsium inundatum Makino
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】－

選定理由

県内での生育地の確認は2～3箇所にすぎず、また生育数も少ない。

分 布

国内では、北海道～本州（北部、中部）に分布する。本県では坂井市や南越前町等に見られる。

種の特徴

山地のやや湿っぽい所や山道の周辺等に生える。茎は1.5～2m、茎葉は長楕円形で鋸歯縁、ほとんど分裂しないが、ときに羽状に分裂するものもある。頭花は紅紫色でよく目立つ。総苞片は5列、外片は線形、直立～斜上する。

生育を脅かす要因

道路改修や用水路周辺の改変等に弱い。

参考文献 福井県植物研究会（1998）、佐竹義輔ほか（1982b）、畔上能力ほか（2013）、奥山春季（1983）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○			○		○			○	

タテヤマアザミ

Cirsium otayae Kitam.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：－

【環境省カテゴリー】－

選定理由

生育地は奥越の一部の山地に限られており、生育数もそれほど多くはない。

分 布

国内では中部地方西部の高山～亜高山帯に分布する。大野市。

種の特徴

亜高山～高山帯の草原に生え、茎は高さ50～100cmほどになる。葉は長さ10～20cm、幅5～8cm。楕円状披針形、羽状に分裂することもある。頭花は横向きにつき、総苞は2.5～3.5cm。総苞片は6～7列、披針形で先は尖り、反曲する。

生育を脅かす要因

登山道の整備、植生遷移等。

参考文献 福井県植物研究会（1998）、清水建美ほか（2014）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ノニガナ

Ixeris polycephala Cass.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】－

選定理由

本県では生育地、個体数が少ない。

分 布

国内では本州～九州に分布する。大野市。

種の特徴

ニガナに似るが、茎葉の基部は矢じり形となり、茎を抱く特徴がある。根生葉は縁に鋸歯がないものから羽状に分裂するものまで変異が大きい。

生育を脅かす要因

開発等による生育環境の破壊など。

参考文献 林弥栄・平野隆久（2013）、奥山春季（1981）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○						○	○	